

令和6年度 事業報告

【 基 本 理 念 】

『みなさん一人ひとりが福祉の主役』
～社会福祉法人 筑紫野市社会福祉協議会は、
誰一人 取り残さない福祉のまちづくりに取り組みます。～

【 職員行動指針 】

1. わたくしたちは、地域住民に寄り添い、ともに生きる社会の実現に努めます。
1. わたくしたちは、質の高いサービスを行うため常に自己研鑽に励み、知識と技術の向上に努め、チャレンジ精神をもって業務に取り組みます。
1. わたくしたちは、職員同士のチームワークと各担当の連携を進め、笑顔と感謝を忘れず相手を思いやる気持ちを大切にします。
1. わたくしたちは、社協活動の透明化・健全化を行い、経営の安定化を図ります。

社会福祉法人

筑紫野市社会福祉協議会

社会福祉法人筑紫野市社会福祉協議会

令和6年度事業報告（主文）

地域福祉活動に影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症も、令和5年度に感染症法上の位置づけが第5類へと移行され、令和6年度は地域での活動も活発化してきた。一方で、長引く物価高騰は、市民生活や地域経済にも深刻な影響を与えており、地域福祉を取り巻く環境には依然として多くの課題が残されている。

このような状況のなか、市民や関係機関の参加・協力のもと、市と連携し、令和7年度からスタートする「第三次筑紫野市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定することができた。

また、権利擁護の取り組みとしては、判断能力が不十分な高齢者や障がい等の方々が地域で安心して日常生活が送れるよう、契約に基づき福祉サービスの利用援助等を行う日常生活自立支援事業、暮らしのサポートセンター事業、法人後見事業の効率的な業務の推進体制の整備に努め、増加する権利擁護ニーズへの迅速な対応を進めることができた。

さらに、地震や大雨等の不測の事態が発生した際に、通常業務を滞らせないだけでなく災害対応業務を行うための備えとして、令和5年度に策定した業務継続計画（BCP）に基づき内部研修会を開催し、計画の必要性や災害等が発生した場合の運用方法について、職員間で共有を図った。また、BCPの一環として実施した災害ボランティアセンター設置研修においては、市内の社会福祉法人にも参加いただき、災害支援への理解を深めるとともに、法人間の連携を強化することができた。

令和6年度事業計画の重点目標に掲げた、人材の確保・定着と経営の安定化については、介護報酬改定及び障がい福祉サービス報酬改定において、介護職員の処遇改善加算の増額にともない賃金改善を行うことができた。しかし、経営の安定化については訪問介護の基本報酬が引き下げられ、新規利用者の受け入れ体制を強化したが、既存利用者の入院及び施設等への入所数の方が大きく上回ったため業績低迷が続き経営改善が図れなかった。そのため、令和7年度事業計画においても重点目標に「施設・在宅サービス事業における生産性の向上と人材確保・定着」を掲げ取り組みを継続することとした。

【1】事業内容（総務課 総務担当）

1 理事会の開催

開催年月日		主 な 議 題
6 月 7 日	第 1 回	・ 理事候補者の推薦について ・ 評議員選任候補者の推薦について ・ 次期評議員選任・解任委員会委員の選任について ・ 令和 6 年度第 1 回評議員会の招集について ・ 令和 5 年度事業報告について ・ 令和 5 年度決算報告について
12 月 20 日	第 2 回	・ 理事候補者の推薦について ・ 令和 6 年度第 2 回・第 3 回評議員会の招集について ・ 職員給与規程の一部改正について
2 月 14 日	第 3 回	・ 理事候補者の推薦について ・ 令和 6 年度第 2 回評議員会の招集について ・ 令和 7 年度役員等賠償責任保険契約の締結について ・ 職員給与規程の一部改正について
3 月 18 日	第 4 回	・ 令和 6 年度第 1 回補正予算（案）について ・ 令和 7 年度事業計画（案）について ・ 令和 7 年度予算（案）について ・ 定款の一部変更について ・ 事務局規程の一部改正について ・ 定款施行細則の一部変更について ・ 令和 6 年度第 3 回評議員会の招集について

2 評議員選任解任委員会の開催

開催年月日		主 な 議 題
6 月 7 日	第 1 回	・ 評議員の選任について

3 評議員会の開催

開催年月日		主 な 議 題
6 月 25 日	第 1 回	・ 理事の選任について ・ 令和 5 年度事業報告について ・ 令和 5 年度決算報告について
2 月 25 日	第 2 回	・ 理事の選任について
3 月 25 日	第 3 回	・ 令和 6 年度第 1 回補正予算（案）について ・ 令和 7 年度事業計画（案）について ・ 令和 7 年度予算（案）について ・ 定款の一部変更について ・ 会員規程の一部改正について

4 専門委員会の開催

回 数	実 施 日	主 な 協 議 事 項
1	8 月 20 日	・「筑紫野市社会福祉協議会表彰状及び感謝状贈呈式」 顕彰候補者（案）について（総務委員会）
2	2 月 14 日	・令和7年度事業計画（案）について（合同専門委員会）

5 会員加入の促進

年 度 項 目	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	口 数	金 額 (円)	口 数	金 額 (円)	口 数	金 額 (円)
一般会員 (1 口 250 円)	12,606	3,150,813	12,796	3,198,760	13,389	3,346,900
賛助会員 (1 口 2,000 円)	304	608,000	298	596,000	335	670,000
特別会員 (1 口 5,000 円)	173	865,000	161	805,000	141	705,000
合 計	13,083	4,623,813	13,255	4,599,760	13,865	4,721,900

6 寄付金の状況

年 度 項 目	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	件数	金 額 (円)	件数	金 額 (円)	件数	金 額 (円)
一般寄付	14	790,531	11	506,645	8	367,661
香典返し	6	290,000	9	440,000	9	460,000
指定寄付	0	0	1	500,000	0	0
合 計	20	1,080,531	21	1,446,645	17	827,661

7 福祉バスの運行

年 度 項 目	令和6年度	令和5年度	令和4年度
利用件数 (件)	136	102	67

8 福祉車両貸出事業

年 度 項 目	令和6年度	令和5年度	令和4年度
利用件数 (件)	94	81	53

9 老人福祉センターの管理運営事業（市受託事業）

年 度 項 目	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
利用者総数（名）	47,068	44,116	37,973

10 機関誌（福祉だより）の発行

- ・ 4 回発行 全戸配布

- ① 4 月 1 日号（ 43,800 部 ） ② 7 月 1 日号（ 43,900 部 ）
- ③ 10 月 1 日号（ 43,850 部 ） ④ 1 月 1 日号（ 43,850 部 ）

11 表彰状及び感謝状贈呈式の開催

10 月 23 日（水） カミーリヤ視聴覚室（参加者 56 名）

12 BCP（業務継続計画）職員研修の開催

- ① 9 月 13 日（金） 業務継続計画（BCP）の必要性
災害発生時の対応と実際の運用方法等
- ② 2 月 21 日（金） 災害ボランティアセンター設置運営について

13 共同募金事業への協力

年 度 募金実績額	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
戸別募金（円）	9,476,960	9,630,902	9,794,633
法人募金（円）	2,253,422	2,322,686	2,286,483
イベント募金（円）	433,596	548,995	324,824
そ の 他（円）	2,356,887	2,472,572	2,463,474
合 計（円）	14,520,865	14,975,155	14,869,414

※上記表中その他の内容 ⇨ 職域募金、募金箱募金、自販機収入、街頭募金
団体募金、個人募金、学校募金

14 実習の受入れ状況

- ・ 8 月 16 日 ～ 9 月 19 日

ソーシャルワーク実習Ⅱ 3 名受入れ（筑紫女学園大学 1 名・西南学院大学 2 名）

- ・ 2 月 12 日 ～ 2 月 21 日

ソーシャルワーク実習Ⅰ 2 名受入れ（筑紫女学園大学 2 名）

【2】事業内容（総務課 介護保険担当）

1 訪問入浴介護事業（介護保険事業）

- ・内 容 令和6年度は人員不足により事業を休止、その後、車両の老朽化や人員確保の目途が立たず、令和6年度末で事業を廃止した。

年 度 項 目	令和6年度	令和5年度	令和4年度
利用者実人数月平均(名)	0	1	1
年間利用者延人数(名)	0	104	65
年間利用者延人数月平均(名)	0	9	5

2 居宅介護支援事業（介護保険事業）

- ・内 容 介護保険制度における要介護及び要支援認定を受けられた利用者に対してケアプランまたは予防プランを作成してサービス事業者との調整を行った。

年 度 項 目	令和6年度	令和5年度	令和4年度
月平均介護保険ケアプラン作成数(件)	61	66	67
年間介護保険ケアプラン作成数(件)	731	792	798
月平均介護予防ケアプラン作成数(件)	11	12	14
年間介護予防ケアプラン作成数(件)	134	144	167
年間ケアプラン総作成数(件)	865	936	965

※（ケアマネージャー数） (4名) (4名) (4名)

3 訪問介護事業（介護保険事業）

- ・内 容 介護保険制度における要介護及び要支援認定を受けられ、ケアプランまたは予防プランで訪問介護を必要とする計画を立てられた利用者に対して、生活援助・身体介護・相談助言のサービスを行った。

年 度 項 目	令和6年度	令和5年度	令和4年度
利用者実人数月平均(名)	67	80	80
年間利用者延人数(名)	6,062	7,004	6,495
年間利用者延人数月平均(名)	505	584	541

4 訪問型サービスA派遣事業（市受託事業）

- ・内 容 筑紫野市介護予防・日常生活支援総合事業における、要支援認定もしくは事業対象者に対して、住み慣れた地域で自立した日常生活が送れるよう生活援助のサービスを行った。

年 度 項 目	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
利用者実人数月平均（名）	1	1	2
年間利用者延人数（名）	24	24	41
年間利用者延人数月平均（名）	2	2	3

5 入浴サービス事業

- ・内 容 令和 6 年度は人員不足により事業を休止、その後、車両の老朽化や人員確保の目途が立たず、令和 6 年度末で事業を廃止した。

年 度 項 目	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
利用者実人数月平均（名）	0	4	4
年間利用者延人数（名）	0	442	446
年間利用者延人数月平均（名）	0	37	37

6 障害者等居宅介護事業（障害者総合支援法事業）

- ・内 容 身体障がい、知的障がい（児童を含む）、精神障がいのある方のお宅にホームヘルパーを派遣し適切な家事及び介護等の日常生活の支援や移動や外出の援護を行った。

年 度 項 目	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
利用者実人数月平均（名）	32	35	38
年間利用者延人数（名）	1,802	2,424	2,901
年間利用者延人数月平均（名）	150	202	242

7 コミュニティヘルパー派遣事業（独自事業）

- ・内 容 介護保険サービス等では適用されない、利用者の多様なニーズに対応し、生活の質の向上を図った。

年 度 項 目	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
利用者実人数月平均（名）	6	6	7
年間利用者延人数（名）	208	283	245
年間利用者延人数月平均（名）	17	24	20

【3】事業内容（総務課 施設担当）

1 生活介護事業「さるびあ学園」

- ・内 容 個別支援計画に基づき、利用者に応じた介助・支援を行った。

年 度 項 目	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
契 約 者 数(名)	18	17	16
年間利用者延人数(名)	2,541	2,612	2,440
年 間 開 所 日 数(日)	239	252	253
1 日 平均 利用者 数(名)	11	10	10

2 園外活動

- ① 10 月 21 日（月） 利用者 2 名 行き先：一蘭の森・二見ヶ浦
- ② 10 月 24 日（木） 利用者 2 名 行き先：アイランドシティ
- ③ 10 月 29 日（火） 利用者 2 名 行き先：マークイズ福岡・PayPay ドーム
- ④ 11 月 6 日（水） 利用者 1 名 行き先：NHK 放送局・大濠公園
- ⑤ 11 月 11 日（月） 利用者 3 名 行き先：NHK 放送局
- ⑥ 11 月 12 日（火） 利用者 2 名 行き先：福岡タワー・マリゾン
- ⑦ 11 月 13 日（水） 利用者 2 名 行き先：九州国立博物館
- ⑧ 12 月 6 日（金） 利用者 1 名 行き先：福岡市科学館

3 地域社会参加活動

- ・内 容 レクリエーション等を通じて筑紫女学園大学生との交流および障がいへの理解の推進

7 月 2 日（火） 利用者 11 名 場所：さるびあ学園

4 地域生活支援事業（日中一時支援事業）「ほほえみクラブ」

- ・内 容 夏休み等長期休暇中の障がい児を対象に、生活の安定を図り、自立や社会参加のための支援を行った。

年 度 項 目	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
契 約 者 数(名)	2	3	7
年間利用者延人数(名)	2	10	37
年 間 実 施 日 数(日)	4	11	24

【4】事業内容（地域福祉課 地域福祉担当）

1 筑紫野市地域福祉計画等推進委員会の開催

- ・開催日時 第1回 7月 5日（金）14:00～
第2回 10月 18日（木）15:30～
第3回 11月 22日（金）14:00～
第4回 11月 29日（金）14:00～
第5回 12月 20日（金）14:00～
第6回 3月 11日（火）14:00～
- ・内 容 「第二次筑紫野市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の令和5年度進捗状況について
「第三次筑紫野市地域福祉計画・地域福祉活動計画」について

2 福祉委員制度の推進

- ・福祉委員数及び福祉委員設置行政区数

年 度 項 目	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
福 祉 委 員 数 (名)	201	197	194
福祉委員設置行政区数	76	77	76

- ・福祉委員研修会

◇第1回

- ・開催日時 6月 4日（火）13:00～
- ・内 容 「フレイル予防の食生活～元気の素は食事から～」
- ・講 師 筑紫野市健康推進課 管理栄養士 和田宇司 氏

◇第2回

- ・開催日時 10月30日(水) 13:30～
- ・内 容 「ばあちゃんのチカラ」
- ・講 師 うきはの宝株式会社 代表取締役 大熊充 氏

3 ふれあいいきいきサロン活動の支援・助成

・実施箇所 94ヶ所

コミュニティ	高齢者サロン	子育てサロン
二日市	20	4
御 笠	15	1
筑紫南	6	5
二日市東	11	4
山 口	6	0
筑 紫	9	5
山 家	8	0
合 計	75	19

- ・サロン活動助成金交付箇所 91ヶ所
- ・サ ロ ン 訪 問 支 援 回 数 延べ43回
- ・レクリエーション用具の貸し出し 延べ297件
- ・ふれあいいきいきサロン連絡会
(高齢者サロン対象)

◇第1回

- ・開催日時 4月26日(金) 13:30～
- ・内 容 (1)「転倒予防教室」
(2)「介護用品(福祉用具)の紹介と使い方～住環境の整備」
- 講 師 (1)福岡県理学療法士会
夫婦石病院 理学療法士 松崎 哲治 氏
(2)K-スタイル 代表 古賀 賢紀 氏

◇第2回

- ・開催日時 ① 1月30日(木) 13:30～
② 2月 4日(火) 13:30～
- ・内 容 「サロン参加者に伝えることができる防災講座」
- ・講 師 筑紫野市危機管理課
(子育てサロン対象)

◇第1回

- ・開催日時 10月4日(金) 13:30～
- ・内 容 「笑顔で子育て!心が育つ絵本の魅力
～絵本を活用し魅力あるサロン活動にするには～」
- ・講 師 子どもの本専門店エルマー店主 前園 敦子 氏

◇第2回

- ・開催日時 3月5日(金) 10:00～
- ・内 容 「赤ちゃんのための防災講座」
- ・講 師 株式会社明治 管理栄養士 高瀬 可奈代 氏
- ・サロン企画委員会の開催
 - ・実施日 ① 5月7日(火) ② 10月7日(月)
③ 12月25日(水) ④ 3月26日(水)
 - ・内 容 第1回サロン連絡会について(企画・報告等)
第2回サロン連絡会について(企画・報告等)
「サロン企画委員だより」作成について
令和7年度サロン連絡会について(企画) 他

4 各コミュニティを単位とした福祉活動の推進(重点目標)

- ・内 容 職員を各地区コミュニティ担当制とし、コミュニティ連絡協議会の健康福祉部等との連携を強化した。また、地域住民や関係機関・団体との協働による福祉活動や生活支援事業の実現に向けた支援を行った。
- ・取 組 各地区コミュニティの健康福祉部等の定例会や行事の支援
生活支援事業の実施に向けた支援
→平等寺区の買物支援「ちょっと買い物隊」の支援
筑紫第3自治会の買物支援「おれんじクラブ」の支援
(モデル事業)

5 生活支援体制整備事業の推進(市受託事業)

- ・内 容 日常生活に支援が必要な高齢者等が住み慣れた地域で生きがいをもって在宅生活を継続できるような生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築することを目的に、支援ニーズと適切なサービスのコーディネート機能を担い、サービス提供事業者と連携して支援体制の充実・強化を図った。
- ・取 組 各コミュニティ運営協議会における情報交換の場づくり支援
つくしネット筑紫野(第1層協議体)運営支援
→8月23日(金)、11月7日(木)、2月7日(金)開催
地域活動の情報収集及び紹介・啓発記事の作成
各コミュニティ運営協議会健康福祉部会等への参加
関係機関との学習会・情報交換会の開催及び参加
自立支援型地域ケア会議参加
健康福祉部会等における地域包括ケアシステムの学習会の実施
筑紫区第3自治会(重点地区)における買い物支援の運営支援
平等寺区における住民主体の買い物支援の運営支援

6 安全・安心のまちづくりの推進

- ・内 容 福岡県社協及び市内社会福祉法人と連携し、災害ボランティアセンターの設置・運営研修を実施した。
- ・令和6年度災害ボランティアセンター設置運営研修
 - ・開催日時 2月21日(金) 17:00～
 - ・内 容 災害ボランティアセンターの取組と協働型災害ボランティアセンターについて
 - ・講 師 福岡県社会福祉協議会地域福祉部災害福祉支援センター
センター長 藤本 博昭 氏

7 在宅介護者交流会の開催

- ・内 容 筑紫野市及び近郊に在住の介護者同士の介護に関する情報交換や交流の場として、筑紫野市介護を考える家族の会（筑紫野市市民協働事業）と協働で介護者のつどいを開催した。
- ・介護者のつどい
 - ◇第1回
 - ・開催日時 6月11日(火) 13:30～
 - ・内 容 「介護保険の申請から認定まで
～知っているようで知らない介護保険～」
 - ・講 師 筑紫野市地域包括支援センター 主任ケアマネジャー職能
 - ◇第2回
 - ・開催日時 9月10日(火) 13:30～
 - ・内 容 「認知症の最新医療 従来治療と予防について」
 - ・講 師 福岡県認知症医療センター
医療法人牧和会 牧病院 理事長 牧 聡 氏
 - ◇第3回
 - ・開催日時 11月12日(火) 13:30～
 - ・内 容 「認知症の方への対応・寸劇」
 - ・講 師 筑紫野市地域包括支援センター 認知症地域支援推進員
 - ◇第4回
 - ・開催日時 3月11日(火) 9:00～
 - ・内 容 「リフレッシュ バスハイク」
 - ・行 先 福岡市健康づくりサポートセンターあいれふ
(認知症フレンドリーセンター) 他

8 筑紫野市民生委員・児童委員連合会への協力・支援

- ・内 容 民生委員・児童委員、主任児童委員が、地域福祉の担い手として十分に実践活動を行うことが出来るよう研修会の開催や関係機関との連絡調整、組織運営のための理事会、定例会、部会の開催支援を行った。また、広報委員会を中心として実施したオレンジリボン運動の推進やチラシ配布などの啓発活動の支援を行った。

◇全体会（全員協議会）の開催支援

- ・開 催 日 ① 4月18日(木) ② 8月8日(木)
③ 12月12日(木) ④ 3月13日(木)

◇専門部会研修会の開催支援

- ・高齢者福祉部会

開 催 日 ① 6 月 27 日 (火) ② 2 月 7 日 (水)

- ・児童委員福祉部会

開 催 日 ① 9 月 4 日 (月) ② 1 月 29 日 (月)

- ・障がい者福祉部会

開 催 日 ① 6 月 30 日 (金) ② 10 月 17 日 (火)

- ・地域福祉部会

開 催 日 ① 10 月 20 日 (金) ② 2 月 6 日 (火)

- ・主任児童委員会

開 催 日 ① 4 月 17 日 (金) ② 7 月 5 日 (水)

③ 1 月 22 日 (月) ④ 2 月 21 日 (水)

◇広報委員会会議の開催支援

開 催 日 ① 5 月 28 日 (火) ② 6 月 26 日 (火)

③ 9 月 3 日 (火) ④ 11 月 26 日 (火)

⑤ 2 月 25 日 (火)

◇各地区民生委員児童委員協議会役員会・定例会の開催支援

- ・内 容 役員会・定例会において、資料準備や議案の整理、研修における講師との打ち合わせなどの支援を行った。

9 地域福祉を支える担い手づくりの推進

◇地域福祉サポーター養成講座

- ・開催日時 11 月 27 日 (水) 10:00～

- ・内 容 (1) 講義「地域の様々な福祉課題について学ぶ」

(2) 福祉教育の実践 (車いす・アイマスク体験)

(3) 防災食づくり

(4) 講話・ワーク「地域の福祉課題について考える」

- ・講 師 福岡県社会福祉協議会 地域・ボランティアセンター 櫻木ひさの氏
ガイドボランティアみちしるべ 代表 荒木祐輔 氏
だれでも食堂ちくし 代表 井上緑 氏

◇地域福祉サポーター養成講座フォローアップ

- ・開催日時 3 月 19 日 (水) 10:00～

- ・内 容 (1) サポーター活動報告

(2) 防災食づくり

(3) パラスポーツ (ボッチャ) 体験

10 手話奉仕員養成講座 (市受託事業)

- ・内 容 聴覚障がい者に対する理解と社会参加への協力の輪を広げていくことを目的に手話講座を行った。

- ・開催日時 5 月 8 日 ～ 3 月 14 日 (水・金曜 46 回) 14:00～

- ・受 講 生 22 名

- ・講 師 筑紫野市聴覚障害者協会
筑紫野市手話の会 ほか

11 福祉教育・ボランティア学習の推進

- ・内 容 市や学校・ボランティア連絡協議会などの協力を得ながら、学校や地域における様々な分野において福祉教育を推進した。

① 原田小学校

- 6 月 24 日 (月) 障がい当事者の方の講話 (身体・視覚・聴覚)
- 2 7 日 (木) 車いす体験、手話体験、ガイド(誘導)体験

② 阿志岐小学校

- 9 月 26 日 (木) 障がい当事者の方の講話 (身体) 車いす体験
- 10 月 18 日 (金) 障がい当事者の方の講話 (視覚) ガイド(誘導)体験
- 11 月 12 日 (火) 障がい当事者の方の講話 (聴覚) 手話体験

③ 吉木小学校

- 11 月 13 日 (水) 障がい当事者の方の講話 (身体) 車いす体験

④ 二日市小学校

- 1 月 21 日 (火) 障がい当事者の方の講話 (身体) 車いす体験
- 障がい当事者の方の講話 (視覚) ガイド(誘導)体験

⑤ 山口小学校

- 1 月 28 日 (火) 障がい当事者の方の講話 (身体) 車いす体験
- 障がい当事者の方の講話 (聴覚) 手話体験

⑥ 二日市東小学校

- 2 月 4 日 (火) 障がい当事者の方の講話 (視覚)

⑦ 筑紫東小学校

- 2 月 21 日 (金) 障がい当事者の方の講話 (聴覚) 手話体験
- 障がい当事者の方の講話 (聴覚) 手話体験

- 3 月 11 日 (火) 事後学習

(その他) 福祉教育備品のみ貸出

- ・二日市東小学校 車いす
- ・下見保育所 車いす、アイマスク、白杖、点字ブロック
- ・ちくしの荘 高齢者疑似体験セット (大人用、子ども用)
- ・二日市東コミュニティ運営協議会 高齢者疑似体験セット (大人用、子ども用)

12 ボランティア活動保険加入 (助成) 事業

年 度	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
項 目			
加 入 者 数 (名)	1, 214	1, 272	872

13 福祉ボランティア団体助成事業

- ・内 容 福祉ボランティア団体の自主性の育成、活動の活性化の支援などのために筑紫野市ボランティア連絡協議会の加盟 7 団体に対して、活動費等の助成を行った。

14 分野別入門ボランティア講座

◇ボランティア入門講座

- ・実施日時 5 月 21 日 (火) 13:00～

- ・講 師 福祉教育ゲストティーチャー 齊藤 晋 氏
ガイドボランティアみちしるべ 代表 荒木 祐輔 氏
- ・協 力 ガイドボランティアみちしるべ

◇点字ボランティア入門講座

- ・実施日時 5 月 8 日 (水)、1 5 日 (水)、2 2 日 (水)、2 9 日 (水)
各日 10:00～
- ・講 師 筑紫野市点字教室 法花堂 敏子 氏
- ・協 力 筑紫野市点字教室

15 福祉機器貸出事業

年 度 福祉機器名	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
車 イ ス	163	179	155
介護支援ベッド	0	1	3
浴 槽 手 す り	0	0	2
歩 行 器	1	0	3
シャワーチェアー	1	0	3
シャワーキャリー	4	1	2
ポータブルトイレ	1	14	13
白 杖	9	74	43
シルバーカー	0	2	5
ア イ マ ス ク	2	84	74
点 字 器	1	20	1
貸 出 総 合 計 (件)	182	375	307

※福祉教育の際に使用するアイマスクを自校で保有する学校が増加していることと、白杖を使用しない福祉教育のプログラムを実施しているため、白杖やアイマスクの貸出が減少している

16 行事用機器貸出事業

年 度 行事用機器名	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
綿 菓 子 機 (件)	12	11	7
ポップコーン機 (件)	16	15	6
催 事 用 テ ン ト (件)	4	6	11
貸 出 総 合 計 (件)	32	32	24

17 「食」の自立支援事業（市受託事業）

- ・内 容 筑紫野市民で、虚弱な高齢者若しくは心身に障がい有する方に対して、夕食の提供及び安否確認を目的として弁当配達を行った。

年 度 項 目	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
利用者実人数月平均（名）	77	79	81
年間総利用食数（食）	17,927	17,863	18,168
利用食数月平均（食）	1,494	1,489	1,514
利用食数 1 日平均（食）	49	49	50

【5】事業内容（地域福祉課 暮らしのサポートセンター担当）

1 福祉サービス利用援助事業および成年後見制度の推進

- ・内 容 判断能力が不十分なために日常生活に支障がある方を対象に「暮らしのサポートセンター」による福祉サービス利用援助（日常的金銭管理等）・相談事業・法人後見などを実施し、誰もが安心して地域の中で生活が続けられるよう支援を行った。また生活保護受給者を対象とした日常生活自立支援事業（福岡県社協受託事業）も引き続き実施した。

（日常生活自立支援事業／福岡県社協受託事業）

年 度 項 目	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
契 約 件 数 （件）	51	51	53
訪問支援件数（延件数）	1,262	1,216	1,092

（暮らしのサポートセンター事業）

年 度 項 目	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
契 約 件 数 （件）	39	37	39
訪問支援件数（延件数）	838	735	875

(法人後見事業)

年 度 項 目	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
受 任 件 数 (件)	4	5	4
訪問支援件数 (延件数)	85	221	169

2 不登校支援事業

- ・内 容 不登校の不安や悩みを共に考えていくことを通して、保護者自身が家庭におけるわが子とより良い関係を再構築できるように支援するサポーターの養成講座等を実施した。講師：長阿彌 幹生 氏（教育文化研究所代表）

(不登校に悩む保護者支援サポーター養成講座)

年 度 項 目	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
実 施 日 回 数	11 月～1 月 (金曜日・6 回)	11 月～1 月 (金曜日・6 回)	11 月～12 月 (金曜日・6 回)
受 講 者 延人数(名)	40	62	68

(不登校講演会)

年 度 項 目	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
実 施 日	9 月 7 日 (土)	9 月 3 日 (日)	9 月 3 日 (土)
参加者 (名)	29	29	31

3 貸付事業 (福岡県社協受託事業)

年 度 区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
生活福祉資金貸付 (件)	36	49	284

※生活福祉資金貸付状況 ⇨ 緊急小口資金 19 件、福祉資金 5 件、教育支援資金 12 件